

公開用eラーニングの要件の整理(修正版)

資料3-1

青字:「要件(前回)」からの変更箇所

項目	区分	要件(前回)	No	第4回企画検討会における委員意見	対応方針(案)	要件(修正版)
1 位置づけ、対象者、学習対象と範囲	位置づけ	・被災経験が無いまたは少ない市町村のうち、特に人口10万人未満規模かつ有明の丘研修・地域研修を受講できない市町村に対して、繰り返し生じている災害対応上の課題に対応でき、個別の災害対応業務が実施できるようになる機会として本eラーニングを位置付ける	1	<u>防災スペシャリスト養成のプログラムは、災害対応の標準化の推進でもあり、公開用eラーニングは災害対応の標準化に向けた強力なツールとなるのではないか。</u>	防災スペシャリスト養成のプログラムは、災害対応の標準化の推進であり、公開用eラーニングは災害対応の標準化に向けた強力なツールになることを念頭に公開用eラーニングの開発を進める。	・被災経験が無いまたは少ない市町村のうち、特に人口10万人未満規模かつ有明の丘研修・地域研修を受講できない市町村に対して、繰り返し生じている災害対応上の課題に対応でき、個別の災害対応業務が実施できるようになる機会として本eラーニングを位置付ける。
			2	<u>eラーニングのポリシーや目的、対象者などを明確に利用者と共有することが必要ではないか</u>	利用者向けに、eラーニングの目的や対象者がわかるホームページを設ける。	
	対象者	・市区町村の災害対応にたずさわる全職員 ・市区町村に連絡要員(情報連絡員、リエゾンなど)として派遣される可能性のある、国・都道府県の職員	3	<u>eラーニングの目的(対象者)は、現場で直接被災者や応援者などの対応を行う担当者</u> の養成であることを明確に位置付けてはどうか。	災害対応の各現場で直接被災者や応援者などの対応を行う市区町村の担当者を対象とする。	・ <u>市区町村の職員として、役場や現場において災害対応業務を行う担当職員</u> ・市区町村に連絡要員(情報連絡員、リエゾンなど)として派遣される可能性のある、国・都道府県の職員
			4	公開用eラーニングの <u>受講対象者を明確にすべき。</u>		

項目	区分	要件(前回)	No	第4回企画検討会における委員意見	対応方針(案)	要件(修正版)
1 位置づけ、対象者、学習対象と範囲（つづき）	学習対象と範囲	・学習の対象を下記の7項目とし、項目ごとに、「基本的な考え方」「事前の基準の設定・体制構築」「災害発生時の業務の手順」が学習できる ・受援体制 ・避難勧告等の判断・伝達 ・避難所運営 ・災害廃棄物処理 ・住家被害認定調査・罹災証明書交付 ・ボランティアの受入 ・要配慮者への支援	5	公開用eラーニング作成で対象とする業務について、最終的にいくつ業務を作成するのか、いつまでに作成するかなど、 <u>全体の整備構想を示す中で、当面作成するコンテンツとして、7つの業務を選定していることを示しておいてはどうか。</u>	近年の災害において災害対応上の多くの課題が挙げられた7テーマをまずは当面のeラーニングにおける学習対象とするが、今後、学習対象の項目の追加を検討する。 学習対象の7テーマの「基本的な考え方」「事前の基準の設定・体制構築」「災害発生時の業務の手順」として学ばせる項目を、研修指導要領から抽出し、同要領との整合を図る。	・学習の対象を下記の7テーマとし、テーマごとに、「基本的な考え方」「事前の基準の設定・体制構築」「災害発生時の業務の手順」について学習できる。 ・受援体制 ・避難勧告等の判断・伝達 ・避難所運営 ・災害廃棄物処理 ・住家被害認定調査・罹災証明書交付 ・ボランティアの受入 ・要配慮者への支援 今後、学習対象の項目の追加を検討する。
			6	eラーニングの各学習内容は、 <u>防災スペシャリスト養成の研修指導要領と整合を図ること</u>		
			7	作成の対象とする業務に <u>被災者支援として災害救助法の適用・運用</u> や <u>物資の受入れ業務</u> も対象とした方がよいのではないか。		
			8	公開用eラーニングの学習対象には、 <u>災害対策本部運営も入れてはどうか。</u> 例えば、「災害対策本部とは」というコンテンツがあると基本的なことを網羅的に学べるようになるのではないかと。		
			9	自治体の災害対応における、 <u>情報収集やその整理、活用</u> なども重要であるため、これも学習対象に含めておくとういのではないかと。		

項目	区分	要件(前回)	No	第4回企画検討会における委員意見	対応方針(案)	要件(修正版)
2 コンテンツ	対 作 象 成	・学習対象の7項目をそれぞれコース化する。	10	(意見ナシ)		・学習対象となる7テーマを 作成対象とする。
	内 容 全 体	・コンテンツの内容は、下記関係する内閣府のガイドライン等に基づいて作成する	11	作成にあたり、 <u>小規模の自治体向けに特化</u> するのか、 <u>中核市等も含めた自治体向けに汎用的なものにするか</u> 明確にした方がコンテンツを作り易いのではないか。	人口10万人未満の市町村への災害対応能力向上の機会と位置付けるが、作成するコンテンツは、中核市等も含めた自治体向けに汎用的ものを目指す。	・作成するコンテンツは、中核市等も含めた市区町村向けの汎用的な内容とする。 ・コンテンツの内容は、内閣府が公表している当該ガイドライン等に基づき、有明の丘研修における関係コースの研修指導要領に則して、コーディネーターの助言をいただきながら作成する。
			12	内容は、 <u>基本的な業務のやり方、進め方、法令の活用方法等</u> が理解できる内容でよいのではないか。	項目ごとに詳細なコンテンツ(素案)作成後、確認いただく。	
			13	教材の内容は、 <u>標準テキストから標準化されつつあるものを厳選</u> したほうが良いのではないか。		
			14	<u>基本的な考え方をあまり厚くせず、災害対応の具体的な課題(事例)を明示</u> したうえで、そうした課題を発生させないための必要な準備作業や実務作業のコンテンツにつなげる流れが良いのではないか。		
			15	特に、 <u>現場レベルの職員が自分の業務を具体的に理解できる内容</u> になると良いと思う。		
			16	災害が発生した後に、 <u>タイムライン的に何が起こるのか？どのような課題が発生するのか？</u> といった全体を網羅したコンテンツを基に、そこから <u>個別のコンテンツに誘導</u> できれば良いのではないか。		
			そ の 他 の コ ン テ ン ツ	-		
	18	<u>人手が足りない場合に様々な支援の方法があることや、対応業務ごとに必要な人員数の目安</u> なども示せるとよいのではないか。				

項目	区分	要件(前回)	No	第4回企画検討会における委員意見	対応方針(案)	要件(修正版)
2 コンテンツ(つづき)	基本的な考え方	・「基本的な考え方」では、業務の実施のために知っておかなければならない基本的な考え方をコンテンツ化する	19	学習対象とする業務の「基本的な考え方」では、 <u>サービス提供者(自治体)と受益者(被災者)の間の互いの信頼関係や共通認識が構築できるように、その業務が何のために行う業務か、特に受益者にどのようなサービスを提供するのかわかるような形で整理</u> すればよい。	「基本的な考え方」は、「その業務が何のために行う業務か、特に受益者にどのようなサービスを提供するのかわかるような形で整理」する。	・業務の目的、被災者に対し提供されるサービスがわかるように整理する。 ・業務実施のために知っておくべき基本的な考え方や基礎知識をコンテンツ化する。
	事前の基準の体制構築	・「事前の基準の設定・体制構築」では、事前の備えとして決めておくべき基準や構築すべき体制をコンテンツ化する	20	<u>事前の準備や担当者を決めておくこと</u> なども必要ではないか。	項目ごとに詳細なコンテンツ(素案)作成後、確認いただく。	・事前の備えとして決めておくべき基準や構築すべき体制をコンテンツ化する。
	災害発生時の業務(業務全体の流れと業務上の留意点)	・「災害発生時の業務の手順」では、具体的な業務の手順をWBSなどで整理し、手順1つ1つの実施方法をコンテンツ化して、災害対応直前でもその場で視聴して実践できる内容とする	21	「災害発生時の業務手順」のコンテンツ作成にあたり、 <u>職位(階層)ごとにコンテンツを作成し、それぞれの職位(階層)が何をやるのかを整理すると理解しやすい</u> のではないか。	コンテンツは、現場で直接被災者や応援者などの対応を行う担当者が扱う内容とするが、詳細なコンテンツ(素案)を作成する中で、職位(階層)ごとの整理ができるかどうか等について検討する。	・具体的な業務の手順(WBSなどで整理されたもの)の実施方法をコンテンツ化する。

項目	区分	要件(前回)	No	第4回企画検討会における委員意見	対応方針(案)	要件(修正版)
2 コンテンツ (つづき)	コンテンツ	・動画の視聴だけで実践できることを想定しているため、確認テストは実施しない ・動画は、実際の作業の様子を撮影したもの、または、パワーポイントを動画に変換したものなど、簡易に作成する ・動画の長さは3分(長くて15分まで)程度とする	22	eラーニングを <u>不特定多数に公開</u> するのであれば <u>批判的な視点で視聴されるということを考慮</u> する必要がある。	自治体等にID・パスワードを配布し、限定的な公開とする。 講師個人が発言する形式ではなく、パワーポイント等のスライドをナレーションで解説する形式とする。	・テーマごと、項目ごとに分割して作成する。(複数のコンテンツからなる) ・災害時でも視聴することができ、対応(災害対応業務)について学習できるものとする。 ・パワーポイント等によるスライドをナレーションで解説する形式とする。 ・1項目の長さは3分(長くて15分まで)程度とする。
			23	講師による講義形式のコンテンツを掲載すると、 <u>講師の発言内容に対して批判</u> されることも考えられるため、 <u>コンテンツに個人を登場させない方がよいのではないか。</u>		
			24	例えば、国が示すeラーニングで、「ボランティア活動はボランティアセンターで登録して行うのが基本」とすると、登録せず独自にボランティアを実施している団体が、自らの活動を否定されていると受け取られかねない。 <u>こうしたケースにも配慮して作成することが必要。</u>		
			25	例えば、 <u>政府広報で公開しても支障がないようにするといった基準</u> をクリアできれば、公開にあたり、講師の見解への批判などの懸念は払拭できるのではないか。		
	学習の流れ	・コンテンツは、任意で閲覧可、繰り返し閲覧可の動画とする ・修了条件は設けない	26	(意見ナシ)		・学習の流れに閲覧の順序は設けず、任意で閲覧可、繰り返し閲覧可とする。 ・修了条件は設けない。
	視聴環境	・パソコン、タブレット、スマートフォンに対応	27	(意見ナシ)		・パソコン、タブレット、スマートフォンに対応。

項目	区分	要件(前回)	No	第4回企画検討会における委員意見	対応方針(案)	要件(修正版)
3 実施時期、公開範囲、受講管理	実施時期	・常時開設、常時受講可 (受講期限は設定しない)	28	例えば、 <u>平時は非公開にし、災害時に人員を確保しなければならないときに一時的に公開</u> し、災害対応に必要なことを学んでもらうという方法もあるのではないか。	常時開設とするが、自治体等にID・パスワードを配布し、限定的な公開とする。	・ <u>平時・災害時の別なく</u> 常時開設、常時受講可。(受講期限は設定しない)
	公開範囲	・広く一般に公開する方向で検討	29	不特定多数に公開するのは慎重に。例えば、 <u>自治体にID、パスワードを配布して、公開の範囲を限定する方法</u> も考えられるのではないか。	自治体等にID・パスワードを配布し、限定的な公開とする。	・ <u>国、自治体・指定公共機関の職員(防災担当職員+応援職員)のみが受講できる形とする。</u> (ID・パスワードで対応)
			30	<u>公開については、まずはコンテンツを作成してから議論</u> してはどうか。		
	(受講者情報、学習履歴等) 受講管理	・受講管理はせず、対象者であれば誰でも視聴可 ・任意かつ無記名のアンケートを実施し、所属の市町村を回答してもらうことで、市町村単位での受講状況を把握する	31	(意見ナシ)		・受講管理はせず、対象者であれば誰でも視聴可。 ・任意かつ無記名のアンケートを実施し、所属市区町村名を回答してもらうことで、市区町村単位での受講状況を把握する。
4 システム	ハードウェア	・専用サーバ等のハードウェアの設置は不要	32	(意見ナシ)		・専用サーバ等のハードウェアの設置は不要。
	ソフトウェア	・LMS等のソフトウェアの開発は不要	33	(意見ナシ)		・LMS等のソフトウェアの開発は不要。

項目	区分	要件(前回)	No	第4回企画検討会における委員意見	対応方針(案)	要件(修正版)
5 管理・運用体制	運営・管理 主体	※仕様イメージ決定後、比較検討を行う	34	(意見ナシ)		・内閣府が行う。なお、コンテンツのメンテナンスは毎年行うものとする。
	コスト	・その他のコンテンツ開発費用、初期費用、維持費は、仕様イメージ決定後、比較検討を行う	35	(意見ナシ)		・その他のコンテンツ開発費用、初期費用、維持費用は、仕様イメージ決定後、比較検討を行う。
	その他	・操作方法等の問合せを受け付け、FAQを掲載する ・コミュニティ機能(チャット、掲示板、ディスカッション機能)は使用しない	36	(意見ナシ)		・操作方法等の問合せを受け付け、FAQを掲載する。 ・コミュニティ機能(チャット、掲示板、ディスカッション機能)は使用しない。
6 その他	試行について	-	37	<u>公開前にコンテンツ内容だけでなくシステムも含めてモニターを募り意見をもらったり、試行して内容を検証したりするなど工夫してはどうか。</u>	試行期間を設けてコンテンツ・システムごと試行を実施する。	-
	今後のスケジュール	-	38	<u>公開用eラーニングのコンテンツの更新頻度は、事前に考えておいた方がよい</u> のではないかな。	コンテンツの更新タイミングを事前にスケジュール化する。	-